

くらしに役立つ新聞  
しんぶん「赤旗」  
日 刊—3497円  
日曜版— 823円

# 新 宮 田

日本共産党  
上伊那地区委員会  
電話 72-2465  
宮田村委員会

## 上伊那市町村の 2015年度宅地の 提示平均価格

	平均価格 (坪)	前年度比
南箕輪村	39.566 円	△2.2%
箕輪町	37.709 円	△3.1%
宮田村	36.195 円	△1.0%
駒ヶ根市	36.122 円	△2.8%
伊那市	33.143 円	△1.7%
辰野町	31.203 円	△4.3%
飯島町	20.277 円	△3.0%
中川村	9.880 円	△1.9%
県平均	45.259 円	△2.1%

長野県は二月十八日、固定資産税の算定基礎となる二〇一五年度の評価水準を示す、提示平均価格(土地)を決めました。今年度は三年に一度の評価替え年度にあたり、宮田村は一㎡当たり一万〇九四九円(坪三万六一九五円)で前年比一・〇%の下落で県平均二・一%の下落率より少ない率になりました。

長野県の村で、宅地の平均価格が一番高いのは南箕輪村、宮田村は二番目に高くなりました。伊那市、駒ヶ根市は宮田村の平均価格より下になりました。全県的には軽井沢町が三・〇%上昇で一㎡当たり一万四七九四円(坪四万八〇五円)になります。それ以外の七六市町村は連続下落になります。

## 固定資産税の宅地平均価格 宮田村は坪三万六一九五円 (前年度比一%の下落に) 村では南箕輪村について高い平均価格

安倍政権が「岩盤規制打破」の象徴として農協つぶしの改革に執念を燃やし今国会で農協法改悪を狙っています。これに対して各地の農協、農家から抗議の声が上がっており、村内からも多く聞きます。改革の第一段は、JA全中(全国農業協同組合中央会)の地域農協への指導・監査権を廃止し、全中を現在の農協法にもとづく組織から一般社団法人に転換するとしています。これを安倍首相は「農家の所得を増やすための改革」と言いますが何の保障もありません。自民党が、今回農協に手を出したのは、アメリカや日本財界の意向にそって、全中や農協組織を解体に追い込み、自分達

## 「農協改革」は組合員が進めるもの 政府が農協を力で押さえ込む 農家無視に抗議の声 「農家所得増える」は何も見えず 自民党農政の結末を農協の責任に

が自由に、農協の金融、共済や販売、購買事業に参入できるようにするためのものです。資本の原理で事業展開されれば、農業・農村危機に一層の拍車をかけるだけです。今こそ、単位農協・農家が自民党農政ときちんと対決し、地域住民との共同を広げるときです。

**さよなら原発集会&  
パレード**  
3月8日(日)  
11時~12時30分  
伊那市いなっせ北側  
広場  
主催 さよなら原発上伊那の会  
79-8702